

四條畷市

橋梁長寿命化修繕計画(第Ⅱ期)

令和8年(2026年)3月更新



四條畷市 都市整備部 建設整備課

目次

1	長寿命化修繕計画の改訂について	1
2	四條畷市が管理する橋梁の現状	2
3	長寿命化修繕計画の基本方針	7
3.1	老朽化対策における基本方針	7
3.2	長寿命化修繕計画の基本方針	8
3.3	新技術等の活用と橋梁の集約化の検討方針	9
4	長寿命化修繕計画	10
5	長寿命化修繕計画の効果	11



1 長寿命化修繕計画の改訂について

1.1 これまでの取り組み

市では、将来的な財政負担の低減及び平準化、道路交通の安全性の確保を図るため、平成 24 年度に「四條畷市 橋梁の長寿命化修繕計画」を策定し、計画的な修繕を進めるなど、予防的な維持管理に取り組んできました。

改訂した履歴は以下のとおりです。

- ・令和 5 年（2023 年）3 月「四條畷市 橋梁長寿命化修繕計画」策定
- ・令和 6 年（2024 年）12 月 一部改訂
- ・令和 7 年（2025 年）3 月 一部改訂

また、維持管理の基本となる橋梁の定期点検（5 年に 1 度の定期点検）を行っています。

1.2 改訂の背景

平成 26 年 3 月に道路法施行規則において、道路の維持・修繕に関する省令・告示が公布され、5 年に 1 回の定期点検の実施と近接目視による点検方法が規定されました。また、平成 26 年 6 月に「道路橋定期点検要領（国土交通省道路局）」が策定され、橋梁の健全度を把握するための方法（点検方法や健全度評価指標）が改めて示され、平成 31 年には道路橋定期点検要領が改訂されました。

国土交通省が令和 3 年 3 月に改正した「道路メンテナンス事業補助制度要綱」の事業要件を踏まえ、平成 24 年度に策定した長寿命化修繕計画を更新することとしました。

2 四條畷市が管理する橋梁の現状

(1) 管理橋梁

四條畷市が管理する橋梁は、令和 8 年 3 月現在、125 橋です。その内訳は道路橋 109 橋、歩道橋 16 橋です。四條畷市では、道路橋と歩道橋について長寿命化修繕計画を作成します。

道路橋：車両の交通が可能な橋梁です。



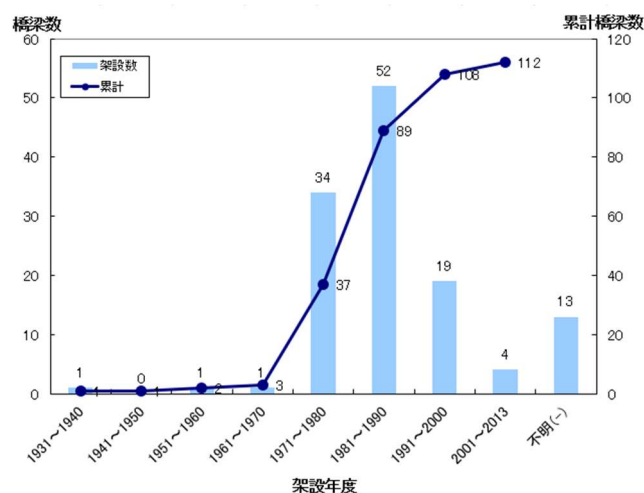
歩道橋：人の歩行に用いる橋梁です。



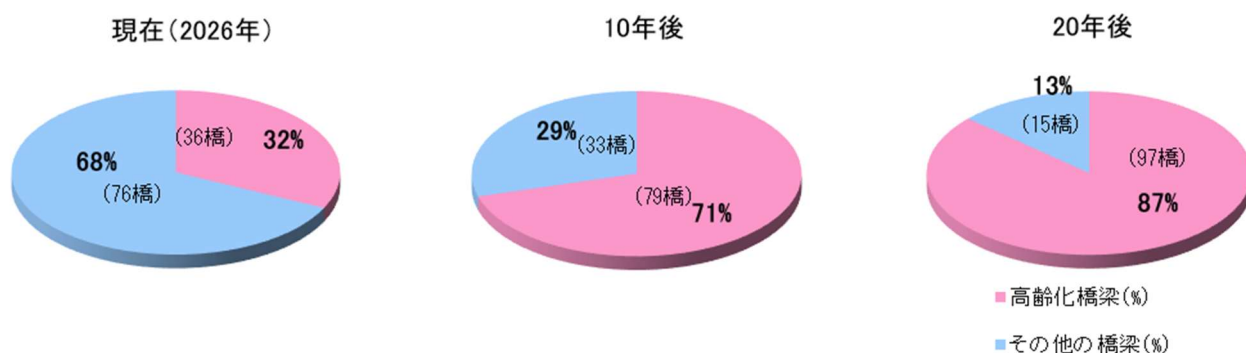
		橋梁数	管理延長 (m)	計画対象 橋梁数	備考
道路橋	15m 以上	8	230.50	8	
	15m 未満	101	596.65	101	
	小計	109	827.15	109	
歩道橋	15m 以上	2	30.80	2	
	15m 未満	14	90.75	14	
	小計	16	121.55	16	
計		125	948.70	125	

(2) 建設年別の橋梁数分布

四條畷市の橋梁は、高度経済成長期に一斉に架けられた橋梁が多くを占めます。



(3) 橋梁の年齢構成



建設後 50 年以上経過した橋梁に占める割合は、現在 32%であり、10 年後には半数以上の 71%、20 年後 87%と急激に増加します。(架設年度が判明していない橋梁が 13 橋あり)
建設後 50 年以上経過した橋梁は、材料の経年劣化でこれから頻繁に修繕が必要となる可能性が高い橋梁として**高齡化橋梁**と呼びます。

● 30～50 年以上経過した橋梁の損傷



■ 鋼材腐食



■ 床版ひびわれ



■ ひびわれ



■ 鉄筋露出

今後はこれらの損傷が多く橋に見られるようになる可能性があります。

最新の点検結果による橋梁の健全度は次の通りです。

健全度	橋梁数
I	83
II	38
III	3
IV	1

最新の点検結果による橋梁の健全度及び次回点検年度を以下に示します。

橋梁名称	所在地	交差状況	使用用途	橋梁の種類	架設年 (西暦)	橋長 (m)	幅員 (m)	最新点 検年度	健全度	次回点検年度				
										R8	R9	R10	R11	R12
弁財天橋	田原台7丁目	北谷川	車道	橋	1989	19.8	15	R3	II	○				
仙女橋	大字上田原	天野川	車道	橋	1990	95	12	R3	II	○				
正法寺橋	大字清滝	清滝川分水路	車道	橋	1976	8.0	8.30	R7	I					○
本町橋	中野本町	清滝川分水路	車道	橋	1975	6.40	6.70	R7	I					○
岡部川3号橋	中野本町	岡部川	車道	橋	1983	5.00	5.95	R7	I					○
清滝川10号橋	中野本町	清滝川	車道	橋	1983	3.40	8.90	R7	I					○
清滝川11号橋	中野3丁目	清滝川	車道	橋	1973	3.50	4.60	R7	IV					○
江蟬川4号橋	米崎町	江蟬川	車道	溝橋	2000	2.70	8.40	R7	I					○
楠公橋	南野1丁目	権現川	車道	橋	1960	6.90	7.80	R7	I					○
羽衣橋	大字上田原	天野川	車道	橋	1985	18.6	4.5	R6	I				○	
前川橋	大字下田原	戎川	車道	橋	1983	11.50	5.70	R3	II	○				
岡部川1号橋	大字蔀屋	岡部川	歩道	橋	-	9.10	2.50	R3	II	○				
見町橋	蔀屋新町	岡部川	車道	橋	1983	8.70	3.00	R3	II	○				
新川2号橋	蔀屋新町	新川	車道	橋	1973	3.00	7.40	R7	II					○
新川3号橋	蔀屋新町	新川	歩道	橋	-	3.80	2.00	R7	I					○
新川4号橋	蔀屋新町	新川	車道	溝橋	1973	2.10	16.00	R7	I					○
新川5号橋	大字蔀屋	新川	車道	橋	1973	2.00	25.00	R7	I					○
新川6号橋	大字中野	新川	車道	橋	1983	2.00	7.50	R7	I					○
奈良井川1号橋	大字中野	奈良井川	車道	橋	1983	2.70	6.70	R7	I					○
清滝川5号橋	大字中野	清滝川	歩道	橋	-	2.30	2.00	R7	III					○
下戸川4号橋	大字中野	下戸川	車道	橋	1983	2.30	4.70	R7	I					○
下戸川3号橋	大字中野	下戸川	車道	橋	1983	2.80	6.80	R7	I					○
清滝川17号橋	中野3丁目	清滝川	車道	橋	1983	3.60	6.00	R7	I					○
清滝川9号橋	中野本町	清滝川	車道	橋	1973	3.10	7.30	R7	I					○
清滝川8号橋	中野本町	清滝川	車道	橋	1973	3.60	8.40	R7	I					○
清滝川7号橋	中野本町	清滝川	車道	橋	1973	3.10	3.30	R7	I					○
清滝橋6号橋	中野本町	清滝川	車道	橋	1973	2.50	5.60	R7	II					○
岡部川2号橋	中野本町	岡部川	車道	橋	1983	10.80	5.20	R7	I					○
讚良川1号橋	岡山5丁目	讚良川	車道	橋	1992	15.6	3.2	R3	II	○				
讚良川2号橋	岡山5丁目	讚良川	車道	橋	1994	12.90	6.20	R3	II	○				
清滝川分水路1号橋	中野	清滝川分水路	車道	橋	1983	7.00	5.30	R3	I	○				
楠風橋	岡山東5丁目	-	歩道	橋	1976	15	2.5	R6	II				○	
分水橋	大字清滝	清滝川分水路	車道	橋	1985	8.30	5.90	R3	II	○				
清滝川13号橋	大字清滝	清滝川	車道	溝橋	1983	7.90	5.30	R7	I					○
小倉橋	清滝中町	清滝川	車道	橋	1962	14.20	4.80	R3	II	○				
清滝川分水路2号橋	大字清滝	清滝川分水路	車道	橋	1983	10.60	5.20	R3	I	○				
清滝川分水路3号橋	大字清滝	清滝川分水路	車道	橋	1980	23.6	4	R3	II	○				
清滝川14号橋	大字清滝	清滝川	歩道	橋	-	8.60	1.90	R7	I					○
別宮川1号橋	大字清滝	別宮川	車道	橋	1983	3.80	4.60	R7	I					○
岡部川4号橋	岡山1丁目	岡部川	車道	橋	1998	7.10	5.90	R7	I					○
稲荷橋	中野本町	清滝川分水路	車道	橋	1975	6.90	4.70	R7	I					○
本町小橋	中野本町	岡部川	歩道	橋	1986	11.50	2.50	R7	I					○
上正法寺橋	大字清滝	清滝川分水路	車道	橋	1983	8.20	2.80	R7	I					○
別宮川3号橋	大字清滝	清滝川分水路	車道	橋	1983	5.80	6.50	R7	I					○
清滝川12号橋	大字清滝	清滝川	車道	橋	1983	3.60	3.70	R7	I					○
谷藪橋	清滝中町	清滝川	車道	橋	1997	5.50	8.80	R7	I					○
讚良橋	岡山4丁目	讚良川	車道	橋	1999	9.50	5.20	R3	I	○				
清滝川4号橋	北出町	清滝川	車道	橋	1983	5.60	6.40	R7	I					○
新川1号橋	蔀屋本町	新川	車道	橋	1973	5.60	5.85	R7	I					○
新川橋	蔀屋本町	新川	車道	橋	1983	5.40	4.50	R7	I					○
蔀屋1号橋	蔀屋本町	清滝川	車道	橋	1983	5.40	4.00	R7	I					○
蔀屋2号橋	蔀屋本町	清滝川	車道	橋	1983	5.40	3.00	R7	I					○
山口川1号橋	蔀屋本町	山口川	車道	橋	1973	2.50	7.25	R7	I					○
蔀屋3号橋	蔀屋本町	清滝川	車道	橋	1983	5.40	5.00	R7	I					○
山口川2号橋	蔀屋本町	山口川	車道	橋	1973	2.40	4.00	R7	I					○
山口川5号橋	蔀屋本町	山口川	車道	橋	1997	2.70	4.10	R7	I					○
山口川4号橋	蔀屋本町	山口川	車道	橋	1997	2.70	7.10	R7	I					○
清滝川3号橋	二丁通町	清滝川	車道	橋	1983	5.40	8.20	R7	I					○
あんぜん橋	二丁通町	山口川	車道	橋	1973	4.80	3.10	R7	I					○
清滝川2号橋	二丁通町	清滝川	歩道	橋	-	3.80	1.70	R7	I					○
清滝川1号橋	二丁通町	清滝川	車道	橋	1983	3.30	4.85	R7	I					○
江蟬川1号橋	雁屋西町	江蟬川	歩道	橋	-	5.00	2.50	R7	I					○
江蟬川2号橋	雁屋北町	江蟬川	車道	橋	1973	4.00	6.40	R7	II					○
江蟬川3号橋	雁屋北町	江蟬川	車道	橋	1983	3.80	8.10	R7	I					○
大寺川1号橋	中野2丁目	大寺川	車道	橋	1973	2.90	8.00	R7	I					○
権現川4号橋	南野3丁目	権現川	車道	橋	1973	5.40	6.00	R7	I					○
江蟬川6号橋	塚脇町	江蟬川	歩道	橋	-	2.50	1.20	R7	III					○
江蟬川5号橋	塚脇町	江蟬川	車道	橋	1983	3.30	3.00	R7	III					○
権現川1号橋	南野1丁目	権現川	歩道	橋	-	7.40	1.60	R7	I					○
権現川2号橋	南野2丁目	権現川	車道	橋	1973	5.90	3.90	R7	I					○
権現川6号橋	南野2丁目	権現川	車道	橋	1973	7.20	2.40	R7	I					○
権現川5号橋	南野3丁目	権現川	歩道	橋	-	4.40	1.40	R7	I					○
権現川3号橋	南野2丁目	権現川	車道	橋	1973	4.50	2.00	R7	I					○

橋梁名称	所在地	交差状況	使用用途	橋梁の種類	架設年 (西暦)	橋長 (m)	幅員 (m)	最新点 検年度	健全度	次回点検年度				
										R8	R9	R10	R11	R12
江蟬川7号橋	南野5丁目	江蟬川	車道	溝橋	1973	3.10	4.80	R7	I					○
権現川16号橋	南野4丁目	権現川	車道	橋	1983	5.40	4.50	R7	I					○
山口川3号橋	節屋本町	山口川	車道	橋	1993	2.40	7.75	R7	I					○
山口川6号橋	節屋本町	山口川	車道	橋	1993	2.80	5.40	R7	I					○
二丁通1号橋	二丁通町	他水路	車道	橋	2007	2.10	9.50	R3	II	○				
讚良川3号橋	大字岡山	讚良川	車道	橋	1983	4.00	4.80	R7	I					○
清滝川15号橋	大字清滝	清滝川	車道	橋	2003	8.60	4.20	R7	I					○
清滝川16号橋	大字清滝	清滝川	車道	橋	2003	7.80	3.80	R7	I					○
中ヶ池橋	大字南野	中ヶ池	車道	橋	1973	4.20	5.00	R3	II	○				
権現川7号橋	大字南野	権現川	車道	橋	1973	3.30	4.40	R7	I					○
権現川8号橋	大字南野	権現川	車道	橋	2000	4.10	4.10	R7	I					○
権現川9号橋	大字南野	権現川	車道	橋	1973	4.90	3.20	R7	I					○
権現川10号橋	大字南野	権現川	車道	橋	1973	3.90	2.30	R7	I					○
権現川11号橋	大字南野	権現川	車道	橋	1973	4.70	2.30	R7	I					○
権現川12号橋	大字南野	権現川	車道	橋	1973	4.90	2.30	R7	I					○
権現川13号橋	大字南野	権現川	車道	橋	1973	5.60	2.00	R7	I					○
権現川15号橋	大字南野	権現川	車道	橋	1973	6.40	2.10	R7	II					○
砂溜橋	大字南野	用水路	歩道	橋	-	7.50	0.50	R7	I					○
権現川14号橋	大字南野	権現川	歩道	橋	-	5.40	0.50	R7	I					○
高橋	大字下田原	天野川	車道	橋	1984	13.20	5.70	R3	II	○				
西川橋	大字下田原	戎川	車道	橋	1985	8.10	5.20	R3	II	○				
清水橋	大字下田原	天野川	車道	橋	1983	13.00	5.10	R3	I	○				
中央橋	大字上田原	天野川	車道	橋	1994	13.40	13.40	R3	II	○				
上田原1号線橋	大字上田原	天野川	車道	橋	1983	13.60	9.50	R4	II		○			
北谷川2号橋	大字上田原	北谷川	車道	橋	1983	5.90	5.30	R7	I					○
フケ水路1号橋	大字上田原	フケ水路	車道	橋	1983	2.70	5.50	R7	I					○
讚良川4号橋	大字逢阪	讚良川	車道	橋	1973	2.60	11.60	R7	I					○
大平橋	田原台8丁目	天野川	車道	橋	1986	18.6	13.2	R6	I				○	
石尾谷水路1号橋	下田原	石尾谷水路	車道	橋	1988	5.00	7.20	R3	II	○				
戎川2号橋	田原台1丁目	戎川	車道	橋	1986	13.50	6.30	R4	II		○			
石尾谷水路2号橋	大字下田原	石尾谷水路	車道	橋	1988	4.00	4.60	R7	I					○
角堂橋	大字下田原	寒谷川	車道	橋	1986	9.70	6.00	R4	II		○			
戎川1号橋	大字下田原	戎川	車道	橋	1986	9.20	6.00	R4	II		○			
田原台6・8号水路1号橋	田原台二丁目	市道辰巳橋線	歩道	橋	1987	15.8	2	R5	II			○		
辰巳谷線1号橋	田原台3丁目	市道辰巳橋線	車道	橋	1999	20	5.2	R4	II		○			
北谷川4号橋	田原台7丁目	北谷川	車道	橋	1987	14.00	6.30	R4	II		○			
北谷川3号橋	田原台7丁目	北谷川	車道	橋	1987	19.3	5.3	R5	II			○		
大原橋	田原台7丁目	北谷からの水路	車道	橋	1987	10.20	6.30	R7	I					○
北谷川5号橋	田原台9丁目	北谷川	歩道	橋	1989	11.65	3.10	R4	II		○			
北谷川6号橋	田原台9丁目	北谷川	車道	橋	1988	10.50	6.30	R4	II		○			
14号水路1号橋	田原台9丁目	14号水路	車道	橋	1998	8.80	9.00	R4	II		○			
14号水路2号橋	田原台9丁目	14号水路	車道	橋	1998	7.60	6.10	R4	II		○			
堂尾川1号橋	大字下田原	堂尾川	車道	溝橋	1993	2.40	3.00	R7	I					○
さつきヶ丘橋	大字上田原	北谷川	車道	橋	2000	10.35	12.00	R4	II		○			
戎川3号橋	下田原	戎川	車道	橋	1993	6.00	3.10	R4	II		○			
堂尾川2号橋	大字下田原	堂尾川	車道	溝橋	1993	3.00	4.60	R7	I					○
高野橋	中野3丁目	清滝川分水路	車道	橋	1984	6.6	8.7	R4	II		○			
高野橋側道橋	中野3丁目	清滝川分水路	歩道	橋	2012	7.8	3.8	R4	II		○			
新橋	岡山	讚良川	車道	橋	1933	7.6	6	R4	II		○			
三坪橋	中野3丁目	清滝川	車道	橋	1973	2.6	12.7	R7	I					○
清滝川18号橋	中野3丁目	清滝川	車道	橋	2019	5.6	7.3	R7	I					○
二丁通1号線1号橋	二丁通町	清滝川	車道	橋	-	3.9	1.57	R7	I					○

3 長寿命化修繕計画の基本方針

3.1 老朽化対策における基本方針

計画的かつ予防的な維持管理を行っていくためには、橋梁の損傷状況を確認し、健全度を把握することが重要となります。

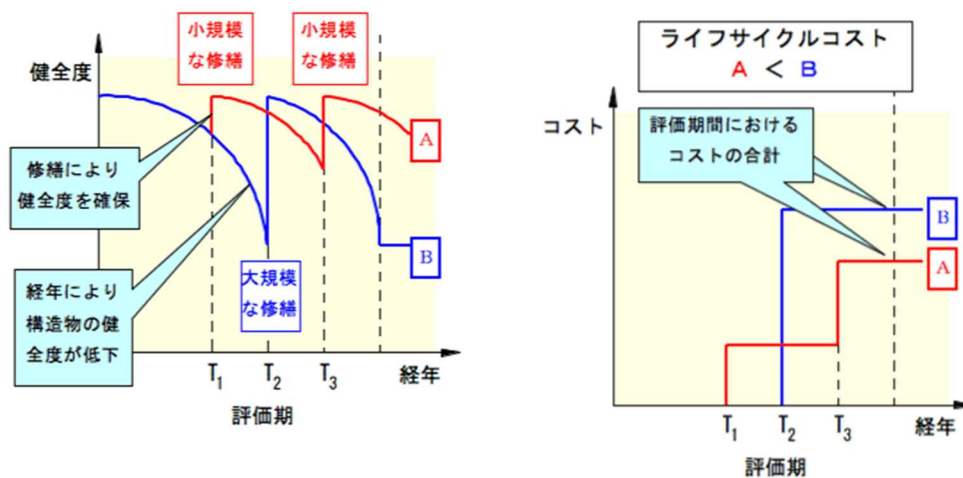
そのため、「道路橋定期点検要領(平成 31 年 2 月国土交通省道路局)」(以下、「定期点検要領」という。)に基づき、5 年に 1 回の頻度で定期点検を継続して実施し、橋梁の損傷状況を早期に把握します。また、定期点検の結果に基づく診断結果(健全度)を長寿命化修繕計画に反映させていきます。

予防保全とは

大切な資産である道路ストックを長く大事に保護し、安全で安心な道路サービスの提供やライフサイクルコストの縮減等を図るため、定期的な点検により、**早期に損傷を発見し、事故や架け替え、大規模な修繕に至る前に対策を実施**します。

※国土交通省資料より

予防保全とは異なり、修繕を行わずに使い続け寿命を迎えたときに大規模な修繕や架け替えを行うことを事後保全といいます。



出展：一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会

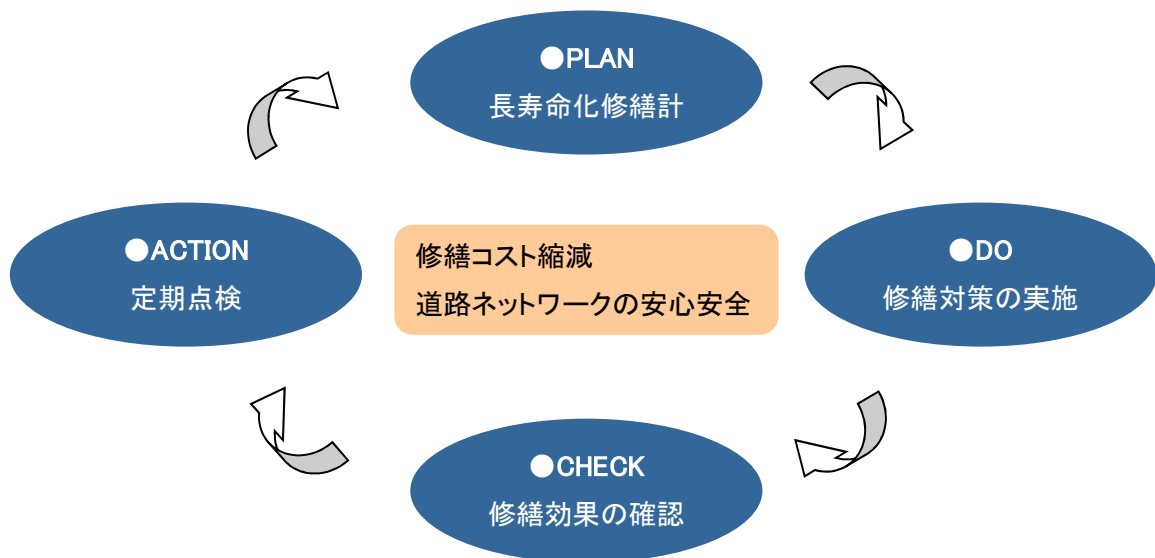
<https://www.pcken.or.jp/techinfo/newtech/lifestyle/cost/index.shtml>

3.2 長寿命化修繕計画の基本方針

四條畷市では、国土交通省から「橋梁の長寿命化修繕計画策定」施策を受けて、橋梁点検を実施し計画的に取り組んできています。

そのような背景の中で、四條畷市では、長寿命化修繕計画の基本方針として次のことを基本方針としています。

- 四條畷市が特定した道路橋 109 橋、歩道橋 16 橋について長寿命化修繕計画を策定し、予防保全型や観察保全型の橋梁管理へ転換することにより修繕コストの縮減を図ります。
- 長寿命化修繕計画を策定するため、5 年間隔を目処に橋梁定期点検を継続的に実施します。継続的に点検を行ない、重大な損傷を見逃さないように取り組みます。
- 長寿命化修繕計画は最新の点検結果に基づき更新し PDCA サイクルを継続的に維持するものとします。



3.3 新技術等の活用と橋梁の集約化の検討方針

1) 新技術等の活用方針

社会インフラの老朽化対策を効率的に進めていくため、近年、維持管理に係る技術開発が積極的に行われています。橋梁の維持管理においても、定期点検の効率化や高度化を図る点検支援技術や補修工事の省力化やコスト縮減を図るための補修工法など、新技術・新工法が開発されています。

持続可能な維持管理を実現するために、令和 9 年度までに市内全橋梁の内、8 割の橋梁で新技術を活用し、従来技術と比較して百万円程度縮減することを目指します。具体的には、定期点検においては、「点検支援技術性能カタログ(案)(国土交通省)」などを参考に点検作業の効率化につながる新技術等の活用を検討します。

補修工事においては、「新技術情報提供システム(NETIS)(国土交通省)」などを参考に各橋梁に適した有効な新技術等の活用を検討します。

2) 橋梁の集約化・撤去方針

四條畷市が管理する橋梁の老朽化が進んでいくため、今後老朽化対策に必要となる維持管理コストの増大が見込まれます。限られた予算の中で持続可能な維持管理を行っていくために、今後 5 年程度で、迂回路が存在し集約が可能な橋梁について、10 橋程度の集約化・撤去を検討し、将来的な維持管理コストを百万円程度縮減することを目指します。

なお、橋梁の集約化・撤去を行う上では、橋梁を利用する地元住民の方々の理解と協力が必要であると共に、近隣市町村との協力も必要となります。そのため、地元との合意形成を図りながら丁寧に検討を進めていき、近隣市町村との協働で橋梁を維持管理できるような体制の検討を進めていきます。

集約化及び撤去の検討に当たっては、廃橋としても道路ネットワークへの影響が少ない、近隣住民の生活道路としての利用頻度、代替可能な橋梁が近くにあるか等を考慮します。

4 長寿命化修繕計画

●四條畷市長寿命化修繕計画

今後、対策を予定している健全度が「Ⅲ」及び「Ⅳ」の橋梁について、補修設計及び補修の実施時期の予定を以下の表に示します。

橋梁名称	路線名称	構造区分	橋長 (m)	幅員 (m)	交差状況	最新点 検年度	健全度	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
清滝川11号橋	南野中野1号線	単純石桁橋	3.50	4.60	清滝川	R7	Ⅳ	設計	【補修】			
清滝川5号橋	中野6号線	単純H形鋼橋	2.30	2.00	清滝川	R7	Ⅲ		設計	【補修】		
江蟬川6号橋	塚脇町3号線	単純H形鋼橋	2.50	1.20	江蟬川	R7	Ⅲ		設計	【補修】		
江蟬川5号橋	塚脇町4号線	単純I形鋼橋	3.30	3.00	江蟬川	R7	Ⅲ		設計	【補修】		

令和 7 年度時点における橋梁の健全度が「Ⅲ」及び「Ⅳ」の橋梁における補修方針は以下のとおりです。

橋梁名称	主な損傷部材	主な損傷
清滝川11号橋	主桁、床版	主桁(石材)の破断
清滝川5号橋	主桁、床版	主桁、床版の腐食
江蟬川6号橋	主桁、床版	主桁、床版の腐食
江蟬川5号橋	主桁、床版	主桁、床版の腐食

なお、補修の実施については、橋長、第3者被害(交差状況が鉄道・道路)、架橋位置の路線等を踏まえて、優先順位を設定します。

健全度が「Ⅰ」、「Ⅱ」の橋梁については、次年度以降に実施される橋梁点検の結果を考慮し、長寿命化修繕計画に基づいて、実施していきます。

5 長寿命化修繕計画の効果

予防保全による維持管理を行なう事により修繕コストが縮減し、四條畷市の限られた財源の中で、将来に渡り一定の道路サービス水準を維持します。

長寿命化修繕計画により、費用の縮減効果は、約 18 億円となります。

橋梁の寿命から求めたコスト縮減効果比較表 (百万円)

	最適 LCC 価格	再構築価格	コスト縮減効果
コスト	612	2,382	1,770

寿命換算で得られた費用縮減効果は約 18 億円

※上表は今後 10 年間に修繕が計画されている橋梁の効果です。